

小牧連携だより



小牧市民病院 1965.4.25 撮影

特集

- がんゲノム医療連携病院としての取り組み・・・・・・・・ P 2

連携ニュース

- 新任医師紹介・・・・・・・・ P 4
- 満足度アンケート・・・・・・・・ P 6
- ドラッグインフォメーション・・・・・・・・ P 8

受付時間

平日 午前 8 時 30 分～午後 7 時 TEL 0568-76-1434
土曜 午前 9 時～午後 0 時 FAX 0568-74-4516



平素と一緒に、繋がっていきなさい。
Komaki

がんゲノム医療連携病院としての取り組み

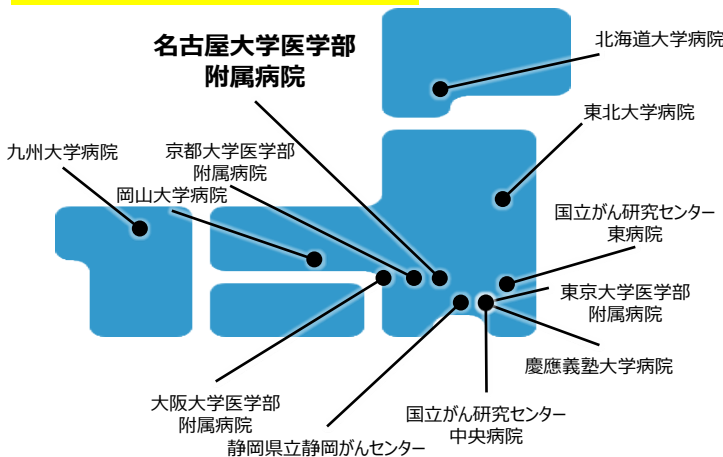
患者支援センター長・がんゲノムセンター長
小島 英嗣

がんゲノム医療は“個人のゲノム情報を基にして、その人の体質や病状に適した医療を行うこと”と定義され、第3期がん対策推進基本計画（2018年3月）において、“がん医療の充実”の分野で最重点施策に位置づけられています。

近年、高速で大量のゲノムの情報を読み取る次世代シーケンサーの進化により、ゲノム配列の解析コストが格段に低下しました。これにより、「がん遺伝子パネル検査」を用いてがんに関係する数百種類の遺伝子変異を一度に調べられるようになりました。当院は2020年にがんゲノム医療連携病院の指定を受け、名古屋大学医学部附属病院と連携しながら、保険診療で行う“がん遺伝子パネル検査”の実施体制を整えています。

がんゲノム医療提供施設 令和4年4月1日現在

がんゲノム医療中核病院：12施設



がんゲノム医療拠点病院：33施設

愛知県がんセンターなど

がんゲノム医療連携病院：189施設

※愛知県：15施設

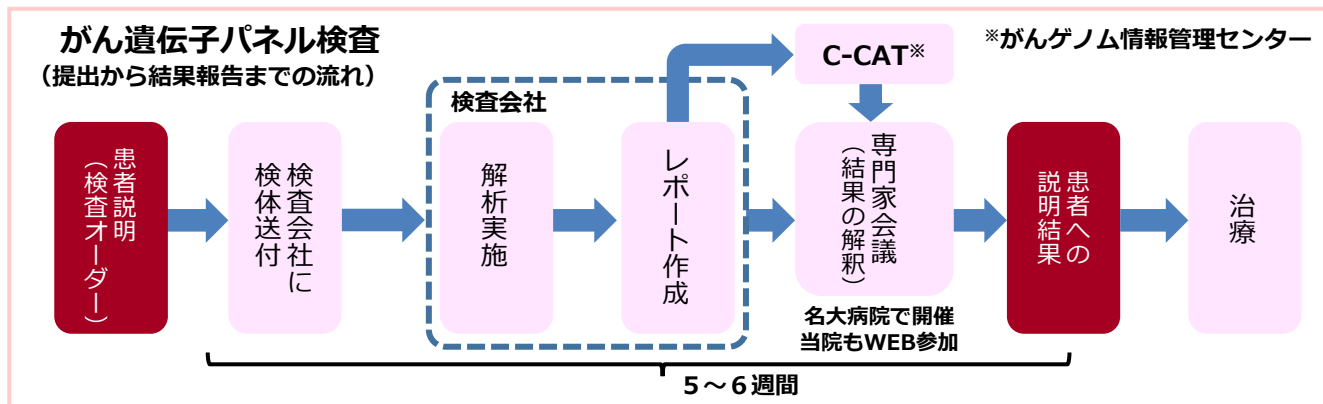
- 日赤愛知医療センター名古屋第一病院
- 藤田医科大学病院
- 日赤愛知医療センター名古屋第二病院
- 名古屋市立大学病院
- 名古屋市立大学附属西部医療センター
- 公立陶生病院
- 豊橋市民病院
- 安城更生病院
- 名古屋医療センター
- 豊田厚生病院
- 愛知医科大学病院
- 一宮市立市民病院
- 小牧市民病院**
- 岡崎市民病院
- 中京病院

がん遺伝子パネル検査の保険適応となる人

がん薬物療法の適応となる患者さんのうち、診療ガイドラインで推奨される標準治療を終えた方や、希少がんで標準治療のない方が対象とされています。新規治療薬の探索を目的とするため、全身状態や臓器機能が良好で、抗がん治療が継続可能と担当医に判断されていることも検査実施の要件となります。

がん遺伝子パネル検査の流れ

検査は原則として腫瘍組織を用いて行いますが、検体の量や質が基準を満たさない場合は、代わりに血液で実施することもあります。検査機関で検出された遺伝子変異の結果は国立がん研究センターの“**がんゲノム情報管理センター**”で共有され、関連する臨床研究や治験情報とともに検査提出医療機関に返却されます。その後、中核拠点病院が開催するエキスパートパネル（臨床腫瘍学や遺伝医学の専門家で構成される専門家会議）で症例検討を行い、担当医が最終結果を患者さんに説明します。



がん遺伝子パネル検査のメリットと注意点

検査結果に基づいて、保険承認薬の他、エビデンスレベルの高い治療薬の臨床試験や治験の対象となる可能性があります。実際に新規薬剤の投与に至る方は10%程度に留まりますが、該当の患者さんにとっては大きなメリットになります。

一方、検査を受けた方の3~5%で偶発的に遺伝性腫瘍に関連する遺伝子変異が指摘されることもあります。そのため、これらの遺伝子が判明した際の開示希望の有無について、あらかじめ患者さんに確認した上で検査を受けていただいています。

がんゲノム医療の展望

2019年6月の保険適用以降、がんゲノム医療提供施設を中心にがん遺伝子パネル検査が普及しつつありますが、治療到達性の低いことが大きな課題です。

厚労省は同年12月に全ゲノム解析等実行計画を発表し、約2万遺伝子を対象とした全ゲノム解析検査を日常診療へ導入するための研究が進められています。治療ターゲットとなる遺伝子変異の検出率向上や、新規薬剤の開発が加速する中で、がん個別化治療のさらなる進展が予想されます。

患者さんに常に適切な薬物療法を提供できるよう、今後もがん診療体制の整備に注力してゆきたいと考えています。

■ 新任医師紹介

本年4月に新しく13名の常勤医師（専攻医を除く）が着任しました。新たなメンバーを加え、地域におけるシームレスな医療提供体制の構築を進めてまいります。

今後も地域の医療機関の先生方と緊密な関係を保ち、地域包括ケアシステムの中で機能できる急性期病院を目指してまいりますので、引き続きよろしく願いいたします。

医師 顔写真	<p>心臓血管外科 部長 寺本 慎男</p> <p>心臓血管外科専門医 外科専門医 胸部ステントグラフト実施医 腹部ステントグラフト実施医 脈管専門医 ICD</p>
-----------	---

医師 顔写真	<p>放射線科 部長 小崎 桂</p> <p>放射線治療専門医 日本医学放射線学会 研修指導者 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医</p>
-----------	---

医師 顔写真	<p>消化器内科 医長 杉山 由晃</p> <p>日本内科学会 認定内科医 日本消化器病学会 消化器病専門医 日本肝臓学会 肝臓専門医</p>
-----------	---

医師 顔写真	<p>呼吸器内科 医長 櫻井 孟</p> <p>日本内科学会 認定医内科医 日本呼吸器学会 呼吸器専門医 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医</p>
-----------	--

医師 顔写真	<p>血液内科 医長 今井 奏衣</p> <p>日本内科学会 認定内科医 日本血液学会 認定血液専門医</p>
-----------	---

医師 顔写真	<p>消化器外科 医長 篠塚 高宏</p> <p>日本外科学会 外科専門医</p>
-----------	---

医師
顔写真

**放射線科 医長
平生 和矢**

日本医学放射線学会
放射線診断専門医・指導医
日本核医学会
PET核医学認定医

医師
顔写真

**整形外科 医長
田口 敦丈**

日本整形外科学会
専門医
日本整形外科学会
認定脊椎・脊髄病医
日本整形外科学会
リハビリテーション医

医師
顔写真

**脳神経外科
水野 晃宏**

脳神経外科専門医

医師
顔写真

**小児科
野末 圭祐**

日本小児科学会
小児科専門医

医師
顔写真

**小児科
山内 かおみ**

医師
顔写真

**リハビリテーション科
井田 壘童**

医師
顔写真

**眼科
諏訪 峻一**

■満足度アンケート

当院では、質の高い地域医療連携体制を構築するため、登録医療機関の皆様方に毎年アンケート調査を実施しています。お忙しい中、多くの先生方にご協力いただきありがとうございました。

本年は、「円滑な予約取得」や「消化器内科の診療制限」に関するご意見が多く寄せられました。また、患者支援センターの対応は評価を下げる結果となりました。今回のご意見・結果を真摯に受けとめ、患者さんや地域の医療機関の皆様方のご期待に応えられる病院づくりを目指してまいります。

【医科】回答数：207（配布数：384 回答率：53.9%）+前年比2.5%

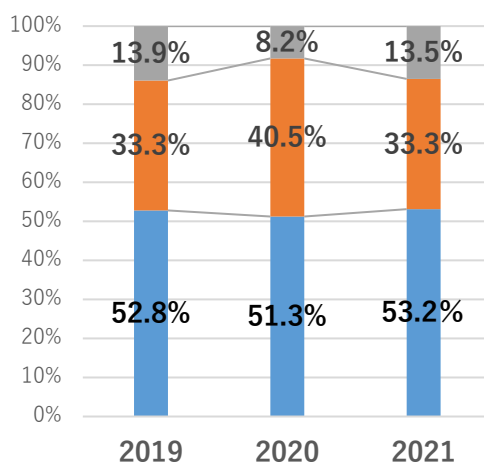
【歯科】回答数：66（配布数：130 回答率：50.8%）+前年比8.2%

予約センターに関する質問

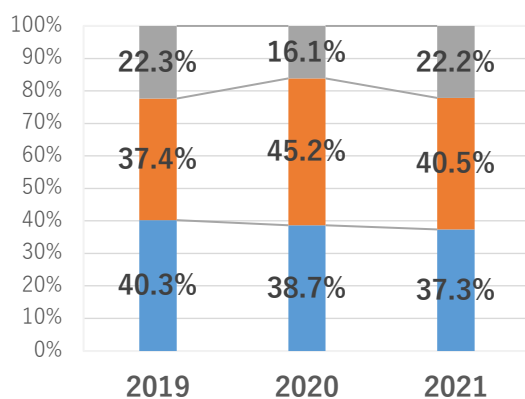
10段階評価

- 不満（1～5）
- 普通（6～8）
- 満足（9～10）

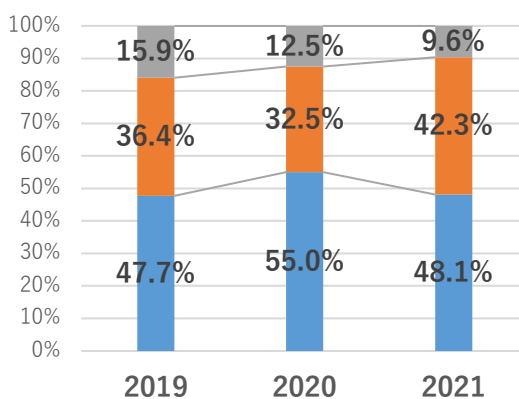
電話対応は丁寧ですか



予約取得はスムーズですか

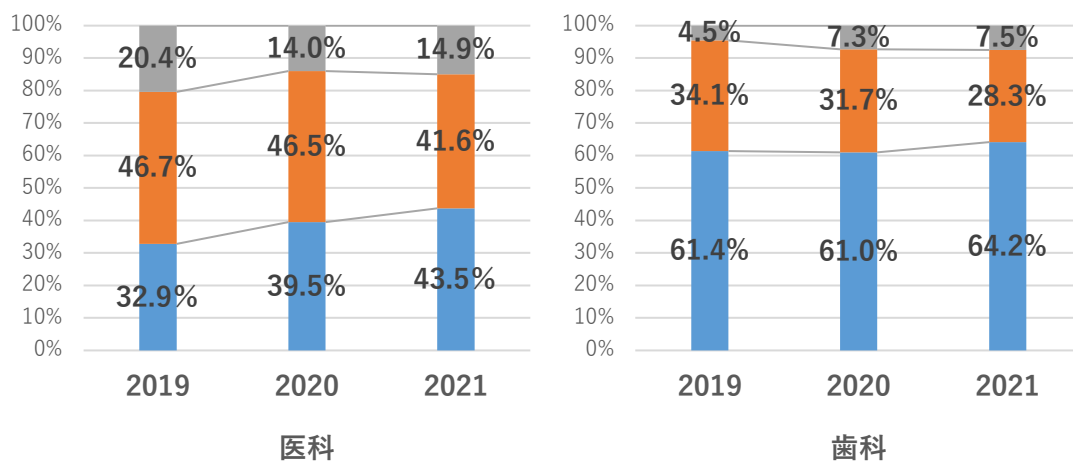


医科

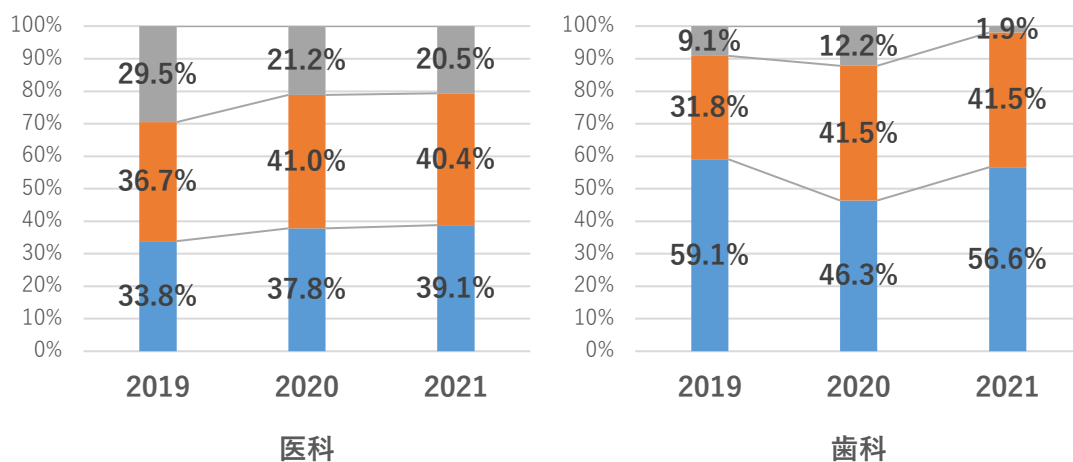


歯科

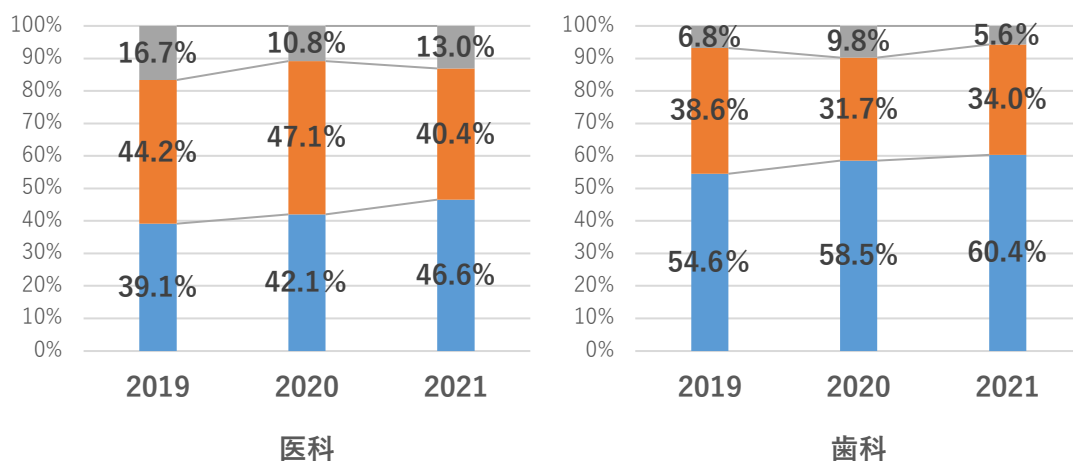
回答書の内容は十分ですか



回答書送付のタイミングは適切ですか



総合評価



■ドラッグインフォメーション

製薬会社から、医薬品の適正使用情報が通知されております。適切な検査の実施や副作用症状の観察など、副作用の発症・重篤化防止に努めていただきますようよろしくお願いいたします。

○酸化マグネシウム製剤 -高マグネシウム血症-

次のような患者さんは、酸化マグネシウム製剤により高マグネシウム血症が発症しやすいと考えられています。

- ・ 本剤を長期間服用している患者
- ・ 腎障害を有する患者
- ・ 高齢の患者
- ・ 便秘症の患者

「高マグネシウム血症」の発症・重篤化防止並びに早期発見のため、以下の点にご留意ください。

- ・ 上記に掲げた患者さんには、定期的に血清マグネシウム値を測定するなど特にご注意ください。
- ・ 漫然とした処方を受け、必要最小限にとどめてください。
- ・ 高マグネシウム血症の症状があらわれた場合には、服用を中止し、直ちに医療機関を受診するようご指導ください。

血清マグネシウム濃度と症状

- ・ 血清マグネシウム濃度に対する臨床症状を下表に示します。
- ・ 酸化マグネシウム製剤を服用中の患者さんに以下のような症状が現れた場合には高マグネシウム血症の可能性を考慮し、適切な処置を行ってください。

血清Mg濃度 (mg/dL)	症状
4.9～	悪心・嘔吐、起立性低血圧、徐脈、皮膚潮紅、筋力低下、傾眠、全身倦怠感、無気力、腱反射の減弱など
6.1～12.2	ECG異常（PR、QT延長）など
9.7～	腱反射消失、随意筋麻痺、嚥下障害、房室ブロック、低血圧など
18.2～	昏睡、呼吸筋麻痺、血圧低下、心停止など